



あなたの机の上に

幼稚園 保育の實際

朝原梅一氏著

著者は、東京府の社會事業主事で、氏の彈力ある熱を以て保育事業がぐんぐん進展して來てゐる事を、かれてから知つてゐるので、この本が出るのを待つて早速に讀んで見た。

幼児教育が盛んになつて來た一面であらう、保育に關する參考書が近年大分多くなつて來たことはまことに喜ばしい現象である、が、兎角幼稚園保育のみ對象をおかれがちで、保育一般

の本がどうもそれに傾き易い。その中で、本書はその何れにも偏することなく、而も各部に亘つて述べられてゐるのが特色の一つであり、又自序にもある通り、法令のあるものは是を引用し、説明しつゝ是を生かして行かうといふ態度を以て始終してあるのも特色である。

内容を摘記して見れば、まづ幼稚園、託兒所、保育學校、農繁託兒所各保育の意義及び目的から始つてゐる。ついで歐洲に於ける是等保育の起源

は、簡單ながらその要を得るに十分であり、本邦に於ける託兒所の起源の中で、かの社會救済に盡した農政家、佐藤信淵が文化文政（一八二〇）の頃、すでに託兒事業を計畫し、又兒童遊園、常設託兒所、農繁期託兒所が、明治二十年代にすでに創始されたといふ。

保育事業經營及び經營者といふ第二編は、當事者にとつての指針であり、保育の實際といふ編は、保母にとつて早速明日からやくに立つ記事で、模範的な保育案や、遊ばせ方迄親切に示されてゐるのは嬉しい。

第四編農繁託兒所及保育施設の附帶事業を讀むと、それ等の知識を確實に得ると共に省みて精神的に思はせられる何物かを感じる。幼稚園關係法規及同準用法規が附録になつてゐる。

斯うして、この一書で保育事業各方面の大勢を知る事が出来るのは何といつても重寶なことである。（壹圓五拾

錢三友社）

新庄